

第1回幹部会開催される

去る平成27年2月9日に土地家屋調査士会館4階会議室において、平成27年度第1回幹部会が開催されました。出席者は、横山一夫会長、八瀬渉一・加古幸平・市川新太郎・森廣幸・阿部重雄各副会長、小沢宏幹事長、椎名勤・神寶敏夫・高野國範・永美一雄・野田清・池川晋一郎・松田圭市・大場英彦・佐々木健・瀧秀隆各副幹事長でありました。

冒頭、横山会長は、次期大会の議案についての深い議論を求めることについて報告をされ会議が開催されました。

この後、報告事項から協議事項に移り各種議論を行いました。

会長からの挨拶にありますように本会議の中心は、平成26年度の運動結果並びに平成27年度の運動方針（案）及び予算（案）についての議論が主なものとなっておりましたが、最後に3. 第15回定時大会資料目録等の確認並びに大会及びその後の懇親会の運営方法についても議論がなされました。

報告事項及び協議事項につきましての詳細については、以下のとおりです。

全国土地家屋調査士政治連盟 第1回幹部会議事録

日 時 平成27年2月9日（月）午後1時30分～同5時00分

場 所 土地家屋調査士会館 会議室

出席者 横山会長

市川・加古・森・阿部・八瀬各全調政連副会長

小沢幹事長 椎名・神寶・高野・永美・野田・池川・松田・大場・佐々木・瀧各副幹事長

《挨拶》

1. 横山会長挨拶

本年初めての方もいらっしゃいますので、あけましておめでとうございます。

本日は立春後ではありますが、非常に寒くなっております。みなさんもお体にはご自愛いただき近日行われます大会には万全な体調でお迎えいただけますようお願い申し上げます。来月は、今お話いただきましたように大会がございます。大会が行われ計画等が承認されますとなお一層努力していかなくてはならないと思います。

本日は短い時間となりますが、中身の濃い会議となればと思います。よろしくお願ひ申し上げます。

《報告事項》

1. 各委員会の事業執行の確認

(7) 総務委員会

平成27年1月26日に第1回総務委員会を開催し第15回定時大会に向け運営に関する協議を行った。協議内容については、後ほど協議事項で発表を行う。

(4) 制度対策委員会

特になし。

(7) 組織強化委員会

特になし。

2. 政治連盟加入状況の確認

別紙（略）資料のと通りの加入状況であることを確認した。本年度の加入状況は昨年度と比して減少していることが現状であった。

《協議事項》

1. 第15回定時大会提案内容について

(1) 平成26年度決算報告承認の件（最終確認）

平成26年度決算報告（最終案）審議の件につき別紙（略）のとおり確認した。

この結果、本案により大会に提案することとした。

(2) 平成27年度運動方針（案）審議の件（最終確認）

平成27年度収入支出運動方針（案）審議の件につき別紙（略）のとおり確認した。

この報告に基づき以下のとおり議論を行った。

市川副会長 総務委員会で確認を行ったが2の(3)について「委員会活動の充実及び特別委員会の発足による活性化」とすることの方が理解しやすいとの議論を行ったがいかがか。

小沢幹事長 特別委員会事態が委員会の一部であるので、特別委員会をはずしてはいかがか。

大場副幹事長 基本方針の本文に特別委員会とあること、また、会長会議により発表していることによりやはりここにも加入しておいた方がよいのではないか。

全役員 了解した。

この結果、一部変更の上大会に提案することとした。

(3) 平成27年度収入支出予算（案）審議の件（最終確認）

平成27年度収入支出予算（案）審議の件につき別紙（略）のとおり確認した。

この報告に基づき以下のとおり議論を行った。

池川副幹事長 先ほどの運動方針で議論を行った結果、特別委員会について力を入れる旨結論に達した。この部分の予算を追加すべきではないか。

小沢幹事長 当然である。追加する

高野副幹事長 今期は会長会議が行われないことが決定しているが、ブロック長会議等の開催を行うことは可能か。

小沢幹事長 ブロック長を決めることに関する規定がないので難しいものとする。

加古副会長 ブロック長会議に変わるような会議の開催を行うべきではないか。行うのであればこの予算を付けるべきではないか。

小沢幹事長 平成 26 年度第 4 回幹部会及び平成 27 年度第 1 回常任幹部会においてもこの議論を行わなかった関係上、ここでこの予算を付けることは難しいものとする。

加古副会長 ブロック長会議に変わるような会議の開催を行うべきではないか。

横山会長 どのような会議になるかわからないが、各ブロックとの協議は進めていきたいと考える。

小沢幹事長 どのような会議になるかわからないとして、予算執行されるかわからないのであれば予備費（緊急に支出される経費）から捻出することがよりよい選択であるものとする。

横山会長 了解した。

小沢幹事長 渉外費及び組織対策費について、昨年度の大会で当職より平成 27 年度予算については増額することで考慮したい旨発言を行っている。これは、やはり政経勉強会等の捻出を考慮しての発言であったが、この部分についてはいかがか。

横山会長 増額を考慮したい。

この結果、一部変更の上大会に提案することとした。

(4) 役員選任審議の件

役員選任審議の件につき以下のとおり報告がなされた。

全国土地家屋調査士政治連盟規約第 9 条に「役員任期は、当該役員が就任したときから第 2 回目の定時大会の終結の時までとする。」とある。今期はこの期であり役員を選任するべく全国土地家屋調査士政治連盟

役員選任規則第13条に基づき、同規則第12条第2項の告示を行った。また、同規則第7条に基づく管理委員会の発足を行った。

この結果、各単位政連及び各ブロックにおける機関決定を行い、選挙管理委員会を通じて大会に提案することとした。

2. 第15回定時大会及び同懇親会の運営等について

(1) 第15回定時大会の運営について

本案につき総務委員会から以下のとおり発案がなされた。

議長予定者：蓑原 照光宮崎県調政連会長予定者（宮崎県）九州ブロック

議事録署名予定者：上原兼雄長野県調政連会長（長野県）関東ブロック、

横山健治釧路調政連会長予定者（釧路庁）北海道ブロック

司会者：永美副幹事長

会場係：市川副会長（責任者）、大場副幹事長

受付係：加古副会長（責任者）、森副会長、松田副幹事長、高野副幹事長

資料係：八瀬副会長（責任者）、阿部副会長、椎名幹事長代理、野田副幹事長

(2) 第15回定時大会懇親会の運営について

司会者：池川副幹事長（小沢幹事長サポート）

会場係：八瀬副会長（責任者）、加古副会長、福本会計責任者、小栗会計責任者職務代行

受付係：市川副会長（責任者）、佐々木副幹事長、滝副幹事長、神寶副幹事長、東調政連から4名

開会の辞：八瀬副会長

閉会の辞：加古副会長

この結果、総務委員会提案原案のとおりとした。

3. 第15回定時大会資料目録等の確認について

(1) 目次・次第等について

表記案件につき議論を行った結果、提出議案お一部定稿した上、提出することとした。

(2) 各種資料について

資料1 各調政連入会者数一覧（平成27年1月1日現在）

資料2 全国土地家屋調査士政治連盟入会者一覧表（平成27年1月1日現在）

資料3 会費納入調書（平成26年12月31日現在）

表記案件につき議論を行った結果、資料2につき前年度と比して一部変更（本会会員数の法人会員を除くもの）とすることにより提出することとした。

4. 各種案内状について

(1) 日本土地家屋調査士会連合会宛

日本土地家屋調査士会連合会宛送付文章につき別紙（略）のとおり確認した。

この結果、本案により日本土地家屋調査士会連合会に送付することとした。

(2) 全国公共嘱託登記土地家屋調査士協会連絡協議会宛

全国公共嘱託登記土地家屋調査士協会連絡協議会宛送付文章につき別紙（略）のとおり確認した。

この結果、本案により全国公共嘱託登記土地家屋調査士協会連絡協議会に送付することとした。

(3) 名誉役員宛

名誉役員宛送付文章につき別紙（略）のとおり確認した。

この結果、本案により名誉役員に送付することとした。

(4) 東京土地家屋調査士政治連盟宛（懇親会の運営の協力方について（お願い））

東京土地家屋調査士政治連盟宛（懇親会の運営の協力方について（お願い））送付文章につき別紙（略）のとおり確認した。

この結果、本案により東京土地家屋調査士政治連盟に送付することとした。

5. その他について

(1) 大会への提出資料の期限について

大会への提出資料の期限は2月12日とし、これまでにすべての資料について事務局へ送付することとした。

(2) 大会前常任幹部会・議長打ち合わせ会議及び大会集合時間について

①大会前常任幹部会・議長打ち合わせ会議について

表記案件につき議論を行った結果、常任幹部会を平成27年3月16日午後2時00分からとし、議長打ち合わせ会議については同日午後3時00分からとする。議長へは、椎名副幹事長及び事務局から連絡することとした。

②大会集合時間について

大会集合時間については、同日午前11時までとすることとした。

以上の議論を行い、午後5時00分に終了した。